

令和 8(2026)年度
総合型選抜(外国人留学生)

文学部

筆記試験問題

日本語

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部		文学部	
志望学科			
受験番号			
氏名		カナ	
氏名			
試験科目	日本語		
備考	問題解答用紙 (七) 枚中 (一) 枚		
採点欄			

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。(配点100点)

文章が上手に書けるようになりたい。そんな思いを持っている人は少なくないはずです。とくに、パソコン、タブレット、スマホといった機器の性能が向上し、いつでもどこでもWi-Fi^Aでつながれる社会インフラが整備された結果、文章を書く機会はB増加しました。人と顔を合わせて話したり電話やビデオ通話で話したりすると時間を取られるので、特定の相手との簡単なやりとりはメールやショートメッセージで済ませるようになっていきます。また、多くの人に自分の考えを知ってほしいときは、ソーシャルメディアをつうじて文章を発信するのが当たり前です。C、現代社会は、デジタル技術の進展によって、人類史上ハツ^①と言っているほど、文字をたくさんD、文章をたくさん書かなければいけない時代になっているのです。

しかし、それによって私たちの文章力が伸びているのかと言われると、心もとないのが実情です。日常的に文章を書くなかで、私たちの文章を書くスピードが上がり、文章力が伸びた面はEあると思うのですが、書く分量が増えたぶん、ザツ^②になったとも言えます。文章にはかならず読み手がいるのですが、自分の書いた文章を読み手がどう読んでどう感じるかF考えてシンチョウ^③に文章を書く機会がかえって減り、文章が下手になった面もあるのではないのでしょうか。文章は読み手が読みやすくなるように丁寧に書くのが基本ですが、放っておくと書き手が書きやすいように雑に書いてしまいGです。そこで大事なのは、読み手が自分の書いた文章をどのように理解するのかという想像力です。そのさい、読み手が自分の書く文章についてどのぐらいの予備知識を持っているのかを見積もり、足りない知識を補う説明が必要になります。

書き手と読み手には持っている知識に差があり、読み手が文章を読むことで新たな知識を得^④、その差がウ^⑤まるようにするのが理想です。読み手がすでに持っている知識を詳しく説明しても冗長^イになってしまいますし、反対に、読み手が持っていない知識を前提にして説明をしても、書き手と読み手のあいだにある知識の差がうまく埋まらず、読み手にとってよくわからない文章になってしまいます。H、書き手が読み手との知識の差を正確に見積もり、その差を埋める適切な情報提示ができれば、文章は確実に読みやすくなります。

次の文章を読んでください。「楽しい旅行」という題名の文章です。

私の思い出の旅行は西安^イ行きの旅行です。去年の夏休み、三年間の忙しい勉強は終わりました。友達と一緒に西安に行きました。西安は洛陽^{ロウヤウ}の近くにあります。だから、列車で行きました。私たちは西安のすばらしいホテルに住みました。そのホテルにはOHPがあります。だから、私たちは夜ホテルで映画を見ました。これは西安の旅行の中、最も楽しい経験です。西安にたくさんのおいしい食べ物があります。私たちは牛肉やアイスクリームなどを食べました。それは全部美味しいです。西安は歴史が長いです。西安は城壁がとて有名です。私たちは城壁を見に行きました。すばらしい景色を見ました。それから、博物館も行きました。そこに古いものがたくさんあります。西安の交通は便利です。私たちは地下鉄で行きました。三日間西安にいました。その三日は私の夏休みの中とても楽しい日です。この旅行は私の一生の思い出です。

この文章を読んで、I理解できたでしょうか。私自身は、この文章を書いた筆者と会ったことはありませんが、内容はよく理解できました。しかし、多くの方^⑥は読んでも理解できないところが多かったのではないのでしょうか。その差は、どんな人がこの文章

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
備 考			
(七) 枚中 (二) 枚 問題解答用紙		受験番号	
採点欄		氏 名	カナ

私たちが文章を理解するとき、どんな人が書いたのか、筆者の人となりを考えるとところから始まります。「西安」「洛陽」という地名から、筆者が中国に住む中国人であることがイメージできたでしょうか。また、「夏休み」「三年間の忙しい勉強」という言葉から、書き手が当時、学生、とくに受験が終わった高校3年生ということがイメージできたでしょうか。この二つがイメージできたらこの文章は格段に読みやすくなります。私自身はこの文章の内容がよく理解できたのは、書き手が中国国内の大学1年生であることを読むまえから知っていたからです。ですので、文章のなかにそのことが一言でも **K**、読み手に易しくなったはずで

また、この文章を深く理解しようとする、中国文化にたいする一定の知識が必要であることがわかります。私がこの文章の内容を比較的よく理解できたと自分で感じるのも、そうした背景知識を活用し、適宜補足しながら読みすすめたからです。この筆者は文章を読むかぎり、おそらく中国の洛陽にジツカがあり、そこから西安に旅行に行つたと推測されますが、洛陽や西安がどんな都市なのかはわからないと、理解に支障を来しかねません。

さて、この文章を読んで感じるのは、日本語としての不自然さです。短い文が続き、文末が「ます」「ました」で並んでいるのを読むと、日本の小学生が書いた文章に見えます。また、語彙や文法でも不自然な選択が散見^③されます。

(修正前) 私の思い出の旅は西安行きの旅行です。

(修正後) 私の思い出の旅は西安旅行です。

このとき出された課題は「私の思い出の旅¹」でしたので、文の前半部分には手は着けずにおきます。そうすると「西安行きの旅²」の部分^オがくどい印象です。ここを「西安旅行」とできそうです。

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
備考		受験番号	
問題解答用紙 (七) 枚中 (三) 枚		氏 名	カナ
		採点欄	

(修正前) 去年の夏休み、三年間の忙しい勉強は終わりました。

(修正後) 去年の夏休み、高校三年間の忙しい受験勉強が終わりました。

ここで引^カかかるのは「勉強は」です。助詞としては「は」ではなく「が」のほうがよさそうですし、「勉強」は「受験勉強」としたほうが意味がより正確に読み手に伝わるでしょう。「受験勉強が」とします。

(修正前) 友達と一緒に西安に行きました。

(修正後) 高校でできた親友と一緒に西安に行きました。

「友達」を「高校でできた親友」としてみました。そうすることでお互いの関係もわかりますし、おそらく1名だということも伝わるでしょう。また、「高校」という言葉を入れることで、直前の「受験勉強」が大学受験であることも伝わります。その点を明確にする意味で、直前の文も「受験勉強が終わり、²と、文を切らない方向で修正します。

以上、中国人学生の書いた文章の最初の部分を見してきました。日本語を習いはじめて半年でここまで書ける学生の努力はすばらしく、私たちが中国語を半年ぐらい勉強して元のレベルの文章が書けるのかと言われたら、おそらく首を **N** に振るでしょう。しかし、一生懸命書いた結果、自分の書きたいことを書くのに^④セイイツパイで、読み手のことまで頭が回っていない印象です。自分の書いた文章を読み手がどのように頭を働かせて読むのかを考え、その前提となる **X** や書き手の **Y** など文章の中に入れておくことで、文章は格段に読みやすくなることがわかります。

書き手自身のことや書き手の身の回りのことを書く場合、 **Z** を考慮して書くといでしょう。

(石黒圭『読み手に届く 文章技術』による)

〔問題〕

(一) 傍線部①～⑭の漢字の読みを平仮名の現代仮名遣いで、また片仮名は漢字に直して、解答欄に記入しなさい。

(二) 空欄A～Nに入る語としてもっとも適切なものを、1～5の中からそれぞれ一つ選んで、解答欄に番号を記入しなさい。

A	1 一回	2 一個	3 一言	4 一つ	5 一通り
B	1 かえって	2 つまり	3 とうとう	4 なにしろ	5 ようやく
C	1 かえって	2 つまり	3 ついに	4 なるほど	5 やつと
D	1 打ち	2 打たし	3 打たれ	4 打ちて	5 打ったら
E	1 いよいよ	2 たしかに	3 とうとう	4 どれほど	5 どんなに
F	1 すら	2 だけ	3 のみ	4 ばかり	5 まで

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜（外国人留学生） 入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部		
日本語		文学部		
		志望学科		
		受験番号		
備考		氏名		カナ
問題解答用紙 (七) 枚中 (四) 枚				
採点欄				

G	1	がち	2	ぎみ	3	すぎ	4	だらけ	5	つばなし
H	1	あるいは	2	さらに	3	したがって	4	それとも	5	とうとう
I	1	どう	2	どこから	3	どこまで	4	どのような	5	どんなに
J	1	書き手	2	読み手	3	多くの方	4	この文章	5	書き手と読み手
K	1	触れさせれば	2	触れていれば	3	触れておけば	4	触れられてあげれば	5	触れられていれば
L	1	あるいは	2	あまり	3	さらに	4	さほど	5	どれほど
M	1	べき	2	べきな	3	べきの	4	べく	5	べし
N	1	後ろ	2	上下	3	縦	4	前	5	横

(三) 傍線部ア～カの本文中の意味として、もっとも適切なものを、1～4の中からそれぞれ一つ選んで、解答欄に番号を記入しなさい。

ア 心もとない

- 1 悲しくてたまらない
- 2 それにはまったくあてはまらない
- 3 はっきりそうとは言えない
- 4 よくわからなくて情けない

イ 冗長

- 1 相手を笑わせようとして、無駄に長く書くこと
- 2 おもしろい表現を工夫しすぎることに
- 3 書くための時間が必要以上に長くなってしまうことに
- 4 述べ方が不必要に長く、無駄が多いことに

ウ 人となり

- 1 人気
- 2 人柄
- 3 人事
- 4 人徳

エ 格段に

- 1 意外に
- 2 完全に
- 3 徐々に
- 4 非常に

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜（外国人留学生） 入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
備 考		受験番号	
(七) 枚中 (五) 枚		氏 名	
採点欄		カナ	

問題解答用紙

オ くだい

- 1 説明が簡潔すぎて、おもしろみがない
- 2 説明が簡単すぎて意味が伝わらない
- 3 説明が詳しくすぎてしつこい
- 4 説明が難しすぎて、わかりにくい

カ 引つかかる

- 1 適切ではないと感じる
- 2 はつきりと誤りだとわかる
- 3 難しいと言わざるを得ない
- 4 簡単には正誤が判断できない

(四) 空欄①・②に入るもっとも適切な漢字一字を、それぞれ解答欄に記入しなさい。ただし、同じ漢字は入りません。

(五) 波線部1「文の前半部分には手は着けずにおきます」とは、どういう意味ですか。解答欄にわかりやすく説明しなさい。

(六) 次の二文は、本文中に出てくる学習者の作文の中の文です。それぞれ不自然なところがありますので、本文と同様に、自然な日本語に修正し、解答欄に記入しなさい。

修正前

私たちは西安のすばらしいホテルに住みました。

修正前

これは西安の旅行の中、最も楽しい経験です。

(七) 空欄XとYには、上手な文章を書くために、書くことが必要だと筆者が述べていることが入ります。筆者は本文の中で、何と何を書くことが必要だと述べていますか。本文中からXは5字で、Yは4字でそれぞれ抜き出し、解答欄に記入しなさい(字数は句読点、記号、符号を含みます)。

X 5字

や書き手の

Y 4字

など

(八) 空欄Zには、上手な文章を書くために、書き手が考えなければならないことが入ります。筆者は本文の中で、どんなことを考えて文章を書くことが必要だと述べていますか。それを説明しているもっとも適切な語句を本文中から18字で抜き出し、解答欄に記入しなさい(字数は句読点、記号、符号を含みます)。

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜（外国人留学生） 入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目	志望学部	
日 本 語	文学部	
	志望学科	
備 考		
(七) 枚中 (六) 枚 問題解答用紙	受験番号	
採点欄	氏 名	カナ

(二)

⑪	⑥	①
え		
⑫	⑦	②
⑬	⑧	③
⑭	⑨	④
	⑩	⑤
	し	まる

(三)

H	A
I	B
J	C
K	D
L	E
M	F
N	G

(三)

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

(四)

①
②

(五)

--

(六)

修正後	修正前
	これは西安の旅行の中、最も楽しい経験です。

修正後	修正前
	私たちは西安のすばらしいホテルに住みました。

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
備考			
(七) 枚中 (七) 枚 問題解答用紙		受験番号	
採点欄		氏 名	カナ

(七)

X

Y

[illegible]